

BCJ-SAR ISOだより Vol.11



財団法人 日本建築センターシステム審査部
〒105-8438東京都港区虎ノ門3-2-2第30森ビル

☎ 03-3434-4537

FAX 03-3434-4560

ホームページ <http://www.bcj.or.jp>

Eメール sinsa@bcj.or.jp

我が社のISO(その11) 『ISOは経営ツール』

当社は、埼玉県深谷市に本社を置いている地場の建設会社であります。明治40年創業以来「誠実と努力」を旨として堅実経営を心がけて今日に至っております。

ISOに取り組んだのは私がある勉強会で、ISOの重要性及び近い将来の取得の必要性を感じて行動に移しました。

1998年8月にキックオフを実施して、1年間かけて社内勉強をして1999年11月に(財)日本建築センター様より認証取得させて頂きました。以来改定を重ねて、2002年9月には、2000年版への切り替え更新をしました。当社のISO活動はまだまだ粗削りで至らないところがたくさんありますが、実際に感じた事は、社長のリーダーシップの重要性和社内全体を見渡し社員の潜在能力を如何に引き出して経営資源として有効活用していくことが大事であるということでした。

*

品質と安全を第一とした良い工事をしてお客様に満足してもらい、また繰り返し同じお客様から仕事をご下命していただくことを目標として認証取得をしたこのISOのツールを活かして、会社の体質改善及び業績向上できるように有効活用していく所存です。また私としては、特に期品質目標の設定には特に力を入れています。そして目標が達成できた時には会社の業績も向上できるよう一体性も考えて策定しますが、実際のところなかなか思う様にはうまくいきません。全社員がひとつの共通目標を達成すべく一年間努力をする訳ですが、過年度に於いて目標はクリアできたが会社の業績が大幅にダウンしてしまったという、大きな

鈴木 弘彦
株式会社鈴木工務所
代表取締役



埼玉県深谷市

TEL 048-571-0252

FAX 048-573-3421

E-mail suuchan@muh.biglobe.ne.jp

反省をしたこともあります。社長の立案の不備とその重要性を痛感した次第です。PDCAの結果の反省を次の機会に改善して活かしていくことが大事であると認識しました。以前よりISOは「魂である」とよく言われています。まさにその通りであり形式だけではなく、社長が魂を入れて先頭に立って活動してこそ、その効果があると思います。取得時に私がいつもことある毎に「品質」や「顧客満足」という言葉を社内に使っていたところ、全社員にもそれが少しずつ浸透し実際の品質にも良い影響が出てきて、以前よりも顧客満足も向上している様です。まだまだ全部の作業が完璧とは程遠いですが、ISOの素晴らしいところを会社流にアレンジしながらブラッシュアップしていければと考えております。まさにこのシステムは中小企業向きな「マネジメントシステム」であると実感しています。

株式会社 鈴木工務所の概要

明治40年 4月 鈴木建築工務所創業

昭和36年 2月 株式会社鈴木工務所へ
組織替え

平成11年11月 ISO9001認証取得

平成14年10月 ISO9001:2000版に切替

●主な業務内容

建築物の設計、工事監理及び施工並びに土木構造物の施工

審査員の目(その15)

『審査員として思うこと』

先日ある組織の品質審査を行った。この組織はISO認証取得を2年前に行っており、比較的ISOの歴史が浅い組織であった。しかしながら品質マネジメントシステム(以下QMSと呼ぶ)が立派に運営されており、今まで私が審査した組織の中では抜群の出来であった。先ず経営者層の理解度が高く、非常に熱心であることが印象的であった。又社員全体で定期的に勉強会を開いており、QMSを改善しようと言う気運があちこちに見られた。その為ISOの要求事項や考え方が業務活動の中に正しく生かされており、ISOと業務が正に融合していると感じられた。QMSを構築し実施している組織が全てこうなればISOの評価もずいぶん違ってくはずだと思うのである。

*

さて私も数年前はある組織の中で、そのグループ会社十数社のISO認証取得を6年間程指導したことがある。その中でISOの取り組みについて、組織によりずいぶん温度差が有ることを思い知らされた。その点について以下のようにまとめてみた。

- (A) QMSが非常に効果的に運営されている組織
- ・経営者層の理解度が高く、非常に熱心である
 - ・社員全員がISOをよく理解している、又は理解しようと努力している
 - ・ISOが実業務に充分生かされている
 - ・継続的改善が実施されている
- (B) QMSを運営しているが、余り効果が上がっていない組織
- ・経営者層が余り熱心でなく、下位者に任せている
 - ・管理責任者や事務局など一部の社員のみで運営されている
 - ・システムは構築され、実施されているが一部実業務から遊離している
 - ・マネジメントレビュー、内部監査、是正・予防処置等が苦手である
- (C) QMSの効果が殆ど見られない組織
- ・顧客や親会社から要求されているのでISOを導入してるが経営者層は無

織田 博司

システム審査部登録審査員
JRCA登録主任審査員

関心

- ・全社的に意識が低く、理解度も低い
- ・審査直前に応急的にデータを揃え準備することもある
- ・ISOはISO、業務は業務と分けて考え行動している

無論、上記のように画一的に分類することにはかなり無理があるかもしれない。当然(A)と(B)、(B)と(C)の間に位置する組織もあるに違いない。

しかし問題はどうしたら(B)や(C)の組織を(A)に近づけることが出来るのか、と言うことである。私の属していた組織のグループ各社については、月に1回程度の事務局会を開催し事務局又は管理責任者が集合し、情報交換、成功事例発表等を行っていた。この方法は組織全体のレベルアップには効果的であったと思われる。

**

私はISOを効果的に実行するには、やはり経営者層が理解度を深め、真剣に取り組むことが重要でそれにつきると考える。だがその為には何をすればよいのだろうか。

我々審査員の役割は、規格要求事項に従って厳正で的確な審査を行うことであり、組織に対し意見を述べたり指導めいたことは決してしてはならないとは言うまでもないが、上記(B)や(C)のような組織を審査するたびに、「何とかならないか」とやきもきするのは私だけなのだろうか。



Q&Aコーナー

先般、品質マネジメントシステムを既に審査登録している組織の皆様に(財)日本適合性認定協会(以下JAB)認定マーク及びBCJ登録マークの変更についてお知らせいたしましたが、下記の質問が寄せられましたのでお答えいたします。

1. 従来マークの使用期限について

(質問)

- ・従来のJAB認定マーク及びBCJ登録マークはいつまで使用できますか。

(回答)

- ・JAB認定マークは2007年1月14日まで、BCJ登録マークは2008年3月24日まで、使用することができます。
従って現在名刺等に従来のマークを使用している皆様は上記期日までに新しいマーク(JABの場合は認定シンボル)に変更していただく必要があります。

2. 認定シンボル及び登録マークの使用方法について

(質問)

- ・認定シンボルは単独で使用できますか。

(回答)

- ・認定シンボルは審査登録機関のマークとの組合せでのみ使用する事ができます。
なお、使用する際は認定シンボルの下にシステム審査部がJABより付与された認定番号(R019)を表示していただく必要があります。

(質問)

- ・弊社のホームページに認定シンボルを使用する場合、何か制約がありますか。

(回答)

- ・貴社のホームページ(ウェブサイト)に認定シンボルを使用する場合は、審査登録機関のマークが表示されているページと同一のページで使用する必要があります。

(質問)

- ・配付された認定シンボルのデータに印刷用とインターネット用の2種類がありますが、使い方に違いがあるのでしょうか。

(回答)

- ・名刺等の印刷物には印刷用のデータを、インターネットのホームページにはインターネット用のデータをお使い下さい。

3. 認定シンボルの管理について

(質問)

- ・認定シンボルは管理する事が要求されていますが、具体的にどのような管理をすればいいのでしょうか。

(回答)

- ・認定シンボルを何に使用したかを記録に留め、システム審査部又はJABが要求した場合に提示できるようにして下さい。また、印刷会社に認定シンボルのデータを渡した場合は、印刷会社に認定シンボルの管理をするように要求してください。

JAB認定シンボル



BCJ登録マーク



労働安全衛生マネジメントシステム 審査登録事業の開始について

システム審査部では、品質マネジメントシステム審査登録事業を平成8年2月より、また、環境マネジメントシステム審査登録事業を平成9年8月より開始し、お陰様でこれまでに両事業併せ751組織（平成18年3月31日現在）の皆様にご利用頂いておりますが、この度、さらに労働安全衛生マネジメントシステム審査登録事業を審査登録メニューの一つに加え、来年1月の業務開始に向けて現在準備を進めているところでございます。

労働安全衛生マネジメントシステムは、品質、環境とともに、経営における重要な管理ツールの一つであり、経営層の監視のもと、労働災害を未然に防ぐ活動を実施し、災害に伴うコストを削減する活動をシステムティックに運用できるシステムです。特に環境マネジメントシステムを構築・運用されている組織の方々におきましては、取り組み易いマネジメントシステムとなっております。

品質・環境との統合審査メニューもご用意する予定でございますので、是非これを機に、労働安全衛生マネジメントシステムの審査登録をご準備頂ければ幸いです。



システム審査部からのお知らせ

■更新を迎える組織の皆様
へのお願い。



審査時期によっては、審査が混み合う事が予想されますので、余裕をもって更新申請書をご提出されますようお願いいたします。（更新申請書の他に「申請者調査表」の提出が必要になります。）

申請書及び調査表は（財）日本建築センターホームページ（<http://www.bcj.or.jp>）よりダウンロードしていただくか、「品質マネジメントシステム審査登録の手引き（R39）」又は「環境マネジメントシステム審査登録の手引き（ER39）」に添付されてい

る様式をご利用下さい。
更新審査以降に実施するサーベイランスは更新審査最終日を起点に実施する事になります。詳細はお手元の「審査登録の手引き」にてご確認ください。

なお、ご不明の点等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。



システム審査部
TEL 03-3434-4537
FAX 03-3434-4560

■今後開催される審査登録判定会議の日程は下記の通りです。

4月18日（火）、5月9日（火）
6月20日（火）

編集後記

新しい年度が始まり、新たな目標に向かって業務に励んでいることと察します。

さて、花粉症にとってはつらい季節の到来ですが、草木の新しい芽吹きの時でもあります。

システム審査部では、皆様に少しでも役にたつ審査登録業務を提供するため、審査員ともども引き続き努力してまいります。





品質マネジメントシステム新規登録組織紹介(2006年1月～2006年3月)

登録番号 (BCJ-QS)	登録組織名・事業所名	所在地	登録された品質マネジメントシステム
0809	田子林業株式会社(半田工場を除く)	群馬県勢多郡	土木構造物及び建築物設計、施工
0810	日伸建設株式会社	千葉県茂原市	建築物の設計、工事監理及び施工並びに土木構造物の施工
0811	株式会社 三本工業	静岡県静岡市	鉄筋工事
0812	株式会社 内藤建設	神奈川県足柄上郡	土木構造物の施工
0813	株式会社 小巻建設	青森県三沢市	土木構造物の施工
0814	株式会社 澤木テック	北海道札幌市	土木構造物の施工
0815	株式会社 田島順三製作所 本社、埼玉工場(総務課を除く)、 名古屋工場 株式会社 吉田製作所佐久工場	東京都豊島区	建築用金属製品の製造
0816	株式会社 アティ	埼玉県所沢市	造園・土木構造物の設計及び施工並びに緑地維持管理
0817	朋友建設株式会社	千葉県千葉市	建築物の施工
0818	株式会社 江田組	埼玉県熊谷市	建築物の設計、工事監理、施工及び土木構造物の施工並びに分譲マンションの販売
0819	株式会社 平沢工務店	茨城県県笠間市	土木構造物の施工
0820	株式会社 柴山土建	茨城県県笠間市	土木構造物の施工
0821	セキスイハイム九州株式会社 九積支社(不動産部及びセキスイファミエス九州株式会社 九積支社企画管理課、設計施工課を除く)	福岡県久留米市	工業化住宅の販売、設計、工事監理、施工及びアフターサービス
0822	西原工業株式会社	千葉県千葉市	土木構造物の施工
0823	株式会社 クラフト	大阪府大阪市	電気設備及び空調設備の設計・施工



環境マネジメントシステム新規登録組織紹介(2006年2月~2006年3月)

登録番号 (BCJ-EMS)	登録組織名・事業所名	所在地	登録された環境マネジメントシステム
0112	京成建設株式会社	千葉県船橋市	建築物の設計・工事監理及び施工、土木構築物の施工
0113	中部セキスイ工業株式会社	愛知県豊橋市	住宅ユニット及び部材の製造
0114	第一セントラス設備株式会社 本社	千葉県市川市	機械設備工事、サービス(修理)及び保守
0115	明治鋼業株式会社 本社、 浦安第一工場、浦安第三工場	東京都千代田区	表面処理鋼板・亜鉛鉄板・冷延鋼板等の加工
0116	栃木セキスイハイム建設株式会社	栃木県宇都宮市	住宅の設計、工事監理、施工及びアフターサービス
0117	飯田環境クリーン株式会社	千葉県千葉市	一般・産業廃棄物の回収及び処理
0118	株式会社 西松	長崎県南島原市	土木構造物・建築物の施工、管工事、機械器具の設置、汚水処理施設及びごみ処理施設の維持管理、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集・運搬
0119	大矢建設工業株式会社 廃棄処理工場	青森県青森市	再生製品の製造販売及び産業廃棄物の中間処理業務
0120	株式会社 庄司興業所 井ヶ 月事業所、産業廃棄物中間処 理場、産業廃棄物最終処分場	青森県八戸市	産業廃棄物の収集運搬・中間処理・最終処分業務並びに廃棄物リサイクル品の製造販売業務
0121	パーカー技建工業株式会社 東京本社	東京都足立区	建築工事の内改修工事に係る工事管理及び施工
0122	株式会社 松山商会 環境保 全部・総務部・業務部	大分県中津市	浄化槽保守点検及び清掃業務 BCJに登録された環境マネジメントシステム:浄化槽保守点検及び清掃業務、貯水槽清掃業務